かしのみ

NPO 新潟県
山野草をたずねる会
機関紙
令和5年12月3日
第37号

植物がとりもつ縁

代 表　角 山 正 博

この夏は本当に厳しい暑さが続きました。一か月余りの間雨が降らず、水不足のために「ぬか山の森育樹・植樹」は延期せざるをませんでしたが、会員及びご支援頂く皆様のご協力を得て、無事に実施することが出来ました。皆様どうもありがとうございました。

さて、4月から始まったNHKの連続テレビ小説「らんまん」が9月いっぱいで終わりました。この番組の主人公は日本の植物分類学の父と呼ばれている牧野富太郎です。以前「牧野富太郎自叙伝」を読んだことがありましたが、番組は自叙伝とそれ程違っていないようでした。

この中で富太郎は草木と人間愛について要約し、次のように書いています。『草木を愛すれば草木が可愛くなりそれを大事にする。そこで思い遣りの心が自発的に萌してくる。人間に思い遣りの心があれば天下泰平で、喧嘩もなければ戦争も起こるまい。故に私は是非とも草木に愛を持つことを奨めたい』

「植物がとりもつ縁」で集まった私たちは、作業の休憩時間に最近見た樹木や花の話をしたり、植物の名前を教えあったりしながら楽しい時間を過ごしています。植物の話をしている時の穏やかな笑顔から、植物を愛している気持ちが伝わってきます。笑顔はナチュラルキラー細胞を活性化してくれます。また森に入ると、小日向名誉会長の話に出てくるフィトンチッドが私たちを包み、新型コロナウイルスも撃退してくれるそうです。効果の程は兎も角、森の中にいると心が落ち着くのは確かです。

私たちの会も年々高齢化が進んでいます。出来る作業も限られてくるため、今までと同じ活動を続けることは困難です。これからは自分たちが出来る範囲に絞った、無理のない活動を続けることが大事だと思っています。「植物がとりもつ縁」を大事にし、出来たら「新しい縁」を結びながら、楽しく無理のない活動を続けたいと思います。来年もよろしくお願いします。

森と私

高 野 正 義

私たちの生活環境は大きく変わり、身近で自然に触れる事が少なくなってきた。毎日なんとなく生活し、自然の素晴らしさを実感することが、心豊かに暮らす源である事を私たちは忘れかけている。森林が元気になれば、里(川)、海が元気になり、人々も元気になる。我々の森づくりが、豊かな心を生み出す原動力である。

子供たちのためにも自分のためにも、森づくりの活動を継続していきたい。春にはカエルの声や蝶々が舞う、夏にはカブトムシや蝉の声、秋にはトンボや虫の声、そして木々の紅葉。冬には白鳥が川面に集う姿を思い浮かべることは楽しい。

令和５年度主な活動紹介

5月13日㈯　佐潟、岩室、春の日帰り研修

自然観察日和に恵まれ、春はラムサール条約湿地佐潟を訪れました。観察会には20名ほどの参加があり、3名のガイドと一緒に回りました。ヨシ群落が広がり、カモの群れやシロサギが飛んでいました。展望小屋に近づくと、

大きなエノキが空に向かって枝を広げ、シロダモやタブノキ群落も見られました。ハナショウブの群落、甲羅干する亀、普段見られない生き物の姿に癒されました。午後は、日帰り温泉「よりなれ」で風呂休憩し、文安三年1446年建立、名刹種月寺を見学。庭の立派な銀木犀や金木犀に驚き、重要文化財の本堂にお参りをしてきました。

7月30日㈯　蒼柴の森育樹作業

会員９名参加。この日は薄雲でいくらか熱波の日差しを妨げていました。昨年末、年始のドカ雪に、倒木や折れた枝が目立ちました。倒れた太い枝は

チェーンソーで刻み、下草が伸びきった所は鎌や刈払い機で刈り取りました。雪に押され地面につくほどに折れ曲がったシロダモやウラジロガシ等は、大きな樹から縄で支えました。3時間ほどで林の中は大変すっきりしました。熱中症に気を付け、お茶会をしながら休憩を挟み、森の成長を祈りました。

10月8日㈰　八方台育樹・植樹

前日の雨が上がり、青空の下、長岡市役所3名、長岡法人会3名、日本精機11名、一般・会員12名、計29名の方から参加いただき八方台の植樹が行われま

した。今年は、植樹開始3年目（H16 ，中越地震時）の所とH24年時の植樹箇所の2か所の除草、補植と肥料まきをしました。ブナ10本、メグスリの木6本、オオヤマザクラ10本を植えました。作業終了後、日本精機有志の方からお手製の栗入り五目おこわを差し入れ頂きました。よい汗をかいた後のおこわは格別。その後、希望者で植樹地周辺の自然を小日向先生から解説頂きました。

息子と共に「八方台いのちの森づくり」

新潟県議会議員　荒木法子

平成27年から参加させていただき今年で8年目。その間、議員となり、結婚し母となり、現在3人目を妊娠中です。

今秋は3歳の長男と伺いました。「木の赤ちゃんを土に植えて、育つと地球を守ってくれるんだよ」と伝えると、「それは、すごいね!」と息子。コツコツと森を育てる活動は子供たちの未来を明るくすると思います。「来年も一緒に行こうね。」と約束して山を下りました。

八方台育樹・植樹に参加して

野本幸助

平成14年から始まった八方台の植樹・育樹も今年で21年目を迎え、私の背丈をはるかに超える成長を見て嬉しく思います。最初の年は、みぞれの降る寒い中合羽を着て、田んぼの様な所に植樹したこと、今後成長するか不安な気持ちになったことを思い出します。その後、植樹・育樹が続けられて、立派な森となったことは、会員の皆様や関係者、市民の皆様のおかげであると感謝しております。

10月28日㈯　糠山育樹・植樹

前日までの雨の予報に反して、雲間から日が差す穏やかな天気に恵まれました。長岡信用金庫33名、会員12名、計45名の参加。この日までに、会員や信金のボランティアで、６月、９月に下草刈りや準備等を行いました。

緑百年物語で購入したコナラ、クヌギ、シロダモ、タブノキ、コブシなどの１ｍ苗、会で育てたウラジロガシ、シラカシなどの幼木、計150本以上を植えました。また、腐葉土120袋、もみ殻12袋を撒きました。9時過ぎから2時間半ほど、会員をグループリーダーに、信金参加者が５・６名ずつの６グループに分かれて、お互い会話をはずませ親睦を深め、楽しく汗をかきました。

ちょうど、終了間際になって雨が降り出しました。今後木々には成長の差はありますが、雑草の下草刈りや雪害の手入れなど、まだまだ見守りが必要です。

ぬか山植樹・育樹に参加して　　長岡市議会議員　関　貴志

名ばかりの会員である私は、今年は微力ながらお手伝いできると喜んでいたのですが、前々日に足を挫いてしまい、全ての作業に参加できるか不安を抱えながら現場に入りました。しかし、自然の癒しのおかげか、最後まで作業ができ、充実した半日を過ごすことができました。作業終了と同時に雨が降り、参加者も植えた木も喜んだのではないかと思います。

11月11日㈯　馬高縄文館、宝生寺、秋の日帰り研修

関原糠山は、縄文からの遺跡のふるさと。関原台地を知ることは長岡、日本人を知ることと、秋の研修は馬高縄文館を訪れました。学芸員さんから、馬高・三十稲場遺跡とその時代の縄文人について教えていただきました。会員８名の参加。縄文人は四季の自然とその豊かな糧とともに生活していたこと。火焔土器、ミス馬高、関原近藤家の話などを聞きました。続いて、滑石を削り勾玉づくりを行い学芸員さんと考古学の話を楽しみました。館内での昼食後、産土神である神明社に参拝し、会員と糠山の健康、発展を祈りました。最後に、白鳥の宝生寺にて、木喰三十三観音を見学。お寺の奥様から、外気の寒さに負けず心温まる講話をいただきました。

サツマイモ、キクイモ大収穫

雑草が茂っていた日越平の畑を再び耕し、何種類かの作物付けにチャレンジしました。5月4日には、会員7名でサツマイモ（ベニアズマ、紅はるか、ひめあやか、安納芋）4種を植えました。

10月25日に会員4名で芋掘りを行いました。夏の日照りにも負けない大収穫でした。その他、アサヅキは順調、キクイモ、落花生は大豊作でした。身近な野菜、ジャガイモ、カブ、ダイコンなどは虫や獣や鳥たちにやられ、手入れが十分ではありませんでした。

これからの時代、万が一に備え、自給自足はますます大切です。来年はいかに…。

みんなの広場

少しでも前向きに　浅野洋子

よくぞ八十路半まで生き永らえたと思うこの頃です。これも周りの皆さんの思い遺りのお蔭かな。感謝々々。

１０月２８日の糠山育樹活動では、信金の若い皆さんと楽しく作業ができ素晴らしい時間でした。これも前準備等をしっかりとやってくださった方々のおかげですよね。

自然の中で、皆さんの声に姿に励まされ、もう少し頑張れるかなと図々しく思っています。

「平和の森」＝「ふるさとの森」　南マサイ

平和の森公園が、私の町内を流れる柿川の対岸に見えます。小日向先生が、山古志中教頭時代に、この平和の森を設計なさったそうです。

長岡空襲５０周年を機に、市民の手で平和の森をつくる会の運動が平成６年から始まり、平成８年に完成。今、育った樹木１本１本が慰霊と長岡市の平和を発信しています。その樹木を見ながら日々元気を頂いております。

蛇も熱中症対策か？　谷内文雄

猛暑の今年の夏に聞いた話です。蛇が池の中に潜るのを見た話です。ヤマカガシが上手に泳いでいたので見ていたら、急に水の中に潜ったそうです。

私も何度か泳ぐのを見たことがありますが、潜った話は初めて聞きました。

あまりの暑さに、蛇も水の中に避難したのではないか？本当のことは蛇に聞かないとわかりませんが。

相続･遺言書きについて　田村千里

たまたま市政だより9月号で一日無料相談会があるという記事を読み相続・遺言の話を聞くことにしました。前から相続について関心があり、新聞記事を切り取ってあるのを参考に遺言書を作成し、指導を受けました。

相談終了後、待合室を通ると数十人が順番待ちしており、これは少子高齢化社会となった現在の関心事であるのかなと思いました。

深呼吸１００回　清水　林

毎朝のラジオ体操と散歩が私の健康法です。動きも鈍く足も伸びませんが、ラジオからの元気な声に励まされて何とか続いています。散歩も以前ほど長くはなく３０分位で買い物も兼ねたものです。

この夏に、クシャミが続いて耳鼻科かと思いましたが、講話で聞いた深呼吸１００回をやってみました。翌日にはピタリと止まりました。深呼吸の大切さを知りました。

会員になって思うこと　横山陽子

山つながりから入会し、あまりにも学ぶ事が多く、落ちこぼれながら何年も経ちました。

自然との共生、いのちの森づくり、小日向先生の知識の豊かさ、行動力は感動的でした。

八方台、蒼柴の森、糠山、きのこ、春の総会と自然や山が好きな私は、会員との出会い、交流はとても楽しい思い出です。

至福の時間　渡辺ゆき子

ただそこにいるだけで心が安らかになり元気が出る。森は不思議な力をもっている。目を閉じ耳を澄ます。何も考えない。そして、私も一本の木になる。

ひたすらに山頂を目指していた若い頃。足元の小さな花にも木々を彩る赤い実にも目もくれず、ハァハァ言いながら汗をぬぐっていた私だが。年を重ね、森から最高の喜びを与えていただいた。

庭の小鳥　太田和子

庭に小鳥が巣を作ってくれました。

- 双眼鏡　持ち出し見入る　ひよどりの
  無事の巣立ちを　祈りて止まぬ
- 小庭より　巣立ちし雉鳩(はと)が　まき餌場に
  恋人(つま)を連れだち　ついばみあそぶ

来年も来てくれるでしょうか。楽しみな出来事でした。

家庭菜園の楽しみ　長東保男

健康のために無農薬で家庭菜園を楽しんでいます。

夏は、トマト、キュウリ、ナス、インゲン他、定番のものを。今年は暑さのせいで今一つでしたが、逆にカラスなどにあまりやられませんでした。秋は、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー他いろいろと。自分で作って料理するのは楽しいものです。これからは鍋物の季節です。

(編集後記) 令和５年版は、会員参加型の紙面に心がけました。会の詳しい活動内容については、新潟県山野草をたずねる会のＨＰ(http://www.cnfo-niigatakensanyasou.or.jp/)をご覧ください。　(編集担当　安原直規)